

# I 新たな時代の観光への対応

## 1 関係人口創出に向けた裾野の拡大

### (1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
令和3年度富山県観光ホームページ制作及び運用保守業務 (29,831千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」のデザイン・内容・システム等を見直してリニューアルすることにより、魅力的かつ戦略的な情報発信を行い、観光客の誘致増大や周遊促進、消費額の増を図った。 ・観光ホームページのリニューアル ・サーバーの運営管理 ・コンテンツの充実 ・セキュリティ対策 など	観光振興室
「旬のとやま旅」情報発信事業 (19,998千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や住環境、食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光情報をデジタルや紙媒体を有効活用しながら発信した。	観光振興室
県産品販売強化支援事業 (17,000千円)	大手通販サイトと連携し、県産品のEC販売プラットフォームを確立し、WEB物産展の開催等を通じて県産品の販売強化を図った。	観光振興室
ミシュランガイド活用欧米観光客誘致促進事業 (8,899千円)	ミシュランガイド英語版ウェブサイトを活用し、欧米からの誘客促進を図った。	観光振興室

### (2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
令和3年度富山県観光ホームページ制作及び運用保守業務(再掲) (29,831千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」のデザイン・内容・システム等を見直してリニューアルすることにより、魅力的かつ戦略的な情報発信を行い、観光客の誘致増大や周遊促進、消費額の増を図った。 ・観光ホームページのリニューアル ・サーバーの運営管理 ・コンテンツの充実 ・セキュリティ対策 など	観光振興室

(3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏魅力発信 イメージアップ 事業 (5,879千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、マスコミ各社とのリレーション構築、イベント出展、首都圏独立放送局3局での番組放映、本県の食や観光を体験できるオンライン交流会の実施等により、富山の魅力発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リリース配信 10回</li> <li>・イベント開催・出展 2回</li> <li>・テレビ番組放映 1回</li> <li>・オンライン交流会開催 1回</li> <li>・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布</li> </ul>	成長戦略室
富山県の物産と 観光展の開催 (6,813千円)	<p>本県への誘客を図るため、JR仙台駅構内において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台（令和3年11月12日～11月14） JR仙台駅</li> </ul>	観光振興室
多階層VR技術 を活用したアル ペンルートプロ モーション事業 (4,999千円)	<p>美女平・弥陀ヶ原への誘客推進のため、VR技術を活用した観光PRイベントを実施した。</p>	観光振興室
県内事業者支援 in 日本橋とや ま館事業 (12,553千円)	<p>新型コロナの影響を受ける県内事業者を支援するため、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに沿った場所（富山）からのリモート中継を通じて富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施や、富山の食材やテーブルウェアを使用した「内食」の普及等を通じて、県内観光地や県産品の発信力を強化した。</p>	成長戦略室
とやま移住・応 援人口創出事業 (2,500千円)	<p>本県への移住や二地域居住等を検討している首都圏の社会人を対象に、富山とつながる関わりしるを発見する講座を実施し、本県を応援する人材（関係人口）の創出を図った。</p>	ワンチーム とやま推進 室

## 2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着

### (1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
越中富山ふるさとチャレンジ事業 (4,000千円)	富山の自然や歴史、文化などに関する施設を巡る「ぐるっと富山ラリー」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見する機会を創出した。 ・スタンプラリー 総応募件数 1,532件 ・モバイルラリー 総応募件数 243件 等	ワンチームとやま推進室
富山ふるさとマスター派遣事業 (800千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20人 ・派遣回数 17回	ワンチームとやま推進室
県民協働推進事業 (1,620千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 10件	県民生活課
富山の文化遺産魅力発信事業 (666千円)	とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会を立ち上げ、重要文化財「常願寺川砂防施設」やユネスコ無形文化遺産をはじめとした本県の文化遺産の魅力の情報発信を図った。 ・リーフレット「水の王国：とやま」作成 35,000部 ・わかりやすい文化財説明板設置事業 等	生涯学習・文化財室
文化財の美装化等推進事業 (17,345千円)	重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町・吉久」の町並みの外観修理や国宝「瑞龍寺」の防災設備の設置等に対して、支援した。 ・補助件数 5件	生涯学習・文化財室
文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	生涯学習・文化財室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまのユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (490 千円)	とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会を立ち上げ、本県のユネスコ無形文化遺産の人材育成・情報発信を図った。 ・とやまのユネスコ無形文化遺産サミット（高岡市で開催） ・観光ボランティア養成事業（南砺市で開催） ・ユネスコ無形文化遺産保存伝承事業（巡回パネル展）の実施（高岡市、射水市、富山市で開催）	生涯学習・文化財室
「地元で泊まろう！県民割引キャンペーン」事業 (72,470 千円)	県民を対象にした宿泊割引キャンペーンを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む観光需要の回復を図った。 ・令和3年4月3日～4月27日	観光振興室
地域観光促進事業 (2,975,012 千円)	県民等を対象にした宿泊・日帰り旅行割引キャンペーンや県内の学校が県内を行先として実施する教育旅行費用を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む観光需要の回復を図った。 ・令和3年5月1日～令和4年3月31日	観光振興室
ウェルカム富山県キャンペーン事業 (491,815 千円)	県内宿泊施設に宿泊された方を対象に富山県ならではの特産品等を漏れなくプレゼントするキャンペーンを実施することにより、コロナ禍で厳しい状況が続く宿泊事業者・物産事業者を支援するとともに、コロナ感染拡大により落ち込んだ観光需要の回復を図った。 ・ウェルカム富山県キャンペーン（延長） （令和3年4月1日～4月27日） ・地元でもらおう！リピート応援特産品プレゼントキャンペーン （令和3年7月1日～10月31日） ・富山の新酒と冬の特産品キャンペーン （令和3年11月1日～令和4年2月28日）	観光振興室
「立山黒部」観光需要回復支援事業 (72,696 千円)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「立山黒部」の観光需要の回復に向け、立山黒部貫光(株)や黒部峡谷鉄道(株)が実施する富山県民・近隣県民対象の割引キャンペーンや観光プロモーション等に対して支援した。	観光振興室

(2) 暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業 (17,745千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 43名</p> <p>(内訳)観光地域づくり入門コース 17名            観光ガイドコース(中級専攻) 3名            観光ガイドコース(上級専攻) 4名            観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名            観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 8名            観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 5名            グローバルコース 1名            観光地域づくりマネジメントコース 2組3名</p>	観光振興室

(3) マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
マイクロツーリズム推進に向けた調査事業 (2,998千円)	マイクロツーリズムを新たな誘客施策として展開するため、必要な調査等を実施した。	観光振興室
マイクロツーリズム推進に向けた検討事業 (9,182千円)	マイクロツーリズム推進に向けて課題の整理や目標の明確化等を行うための検討を実施した。	観光振興室

### 3 デジタル技術の活用

#### (1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県産品販売強化 支援事業(再掲) (17,000千円)	大手通販サイトと連携し、県産品のEC販売プラットフォームを確立し、WEB物産展の開催等を通じて県産品の販売強化を図った。	観光振興室
ミシュランガイド 活用欧米観光 客誘致促進事業 (再掲) (8,899千円)	ミシュランガイド英語版ウェブサイトを活用し、欧米からの誘客促進を図った。	観光振興室
県内事業者支援 in 日本橋とや ま館事業(再掲) (12,553千円)	新型コロナの影響を受ける県内事業者を支援するため、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに沿った場所(富山)からのリモート中継を通じて富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施や、富山の食材やテーブルウェアを使用した「肉食」の普及等を通じて、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室

#### (2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
外国人向け AI チャットボット 導入事業 (27,838千円)	県内周遊の促進や、行動データの収集・分析を通じた誘客・消費の促進のため、AIチャットボットを県下全域で導入した。	観光振興室
5G利活用推進 事業 (89,126千円)	ポストコロナ時代に向けて、新たな旅行スタイルや観光ビジネスのモデルとなる、5Gを活用したVR観光モデル実証の実施	デジタル化 推進室
とやまロケーシ ョンシステム機 能充実事業費補 助金 (1,714千円)	「とやまロケーションシステム」の更なる利用促進に向けたシステム機能の強化を支援	総合交通政 策室
とやまでテレワ ーク移住促進事 業 (7,556千円)	県内全域のワーケーション関連情報(モデルプランや体験レポート、コワーキングスペース、宿泊施設等)を公式ポータルサイト「めぐるとやま」やSNS等にて情報発信した。	ワンチーム とやま推進 室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山山麓ワーケーション環境整備事業 (3,787千円)	立山山麓家族旅行村にフリーWi-Fiを整備した。	自然保護課

### (3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
データサイエンスを活用した誘客促進事業 (7,000千円)	既存のプラットフォームの顧客データを活用し、専門家と県職員等が一体となり、データ分析による戦略的なターゲット設定に基づく施策立案、実行、検証分析を実施した。	観光振興室
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (8,243千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図った。	観光振興室

### (4) 顧客情報を活かしたりピーター確保と受入態勢整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏とやまの魅力発信事業 (22,588千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。	成長戦略室

## 4 ウィズコロナへの対応

### (1) 安全・安心の環境整備及び情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
外国人旅行者の安全確保に関するガイドライン策定事業 (4,653千円)	新型コロナ等の感染症や災害等の発生時における外国人旅行者への対応を整備するため、ガイドラインの策定及び県内観光施設や宿泊施設等への周知を図った。	観光振興室
アフターコロナを見据えた観光地域づくり支援事業 (25,665千円)	アフターコロナを見据えた新たな旅行商品の開発やデジタル技術の活用、感染防止対策など、観光事業者が行う新たな取組みに対し、支援した。 ・補助件数 31件	観光振興室
宿泊事業者感染防止対策等支援事業 (619,180千円)	宿泊事業者が取り組む感染拡大防止策の強化等に要する費用や新たな観光需要に対応するための前向きな投資を支援するとともに、富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合が行う感染防止対策施設の認証を支援した。	観光振興室

### (2) 「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
アフターコロナを見据えた観光地域づくり支援事業(再掲) (25,665千円)	アフターコロナを見据えた新たな旅行商品の開発やデジタル技術の活用、感染防止対策など、観光事業者が行う新たな取組みに対し、支援した。 ・補助件数 31件	観光振興室
とやまワーケーション推進事業 (500千円)	コロナ禍におけるテレワークなど新しい働き方の変化に対応し富山ならではのワーケーションを推進するため、県内市町村及び事業者等を対象にしたワークショップを開催した。	ワンチーム とやま推進室
立山山麓ワーケーション環境整備事業(再掲) (3,787千円)	立山山麓家族旅行村にフリーWi-Fiを整備	自然保護課



## II 持続可能な観光地域づくり

### 1 戦略的な観光地域づくり

#### (1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (8,243千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図った。	観光振興室
訪日外国人観光客の広域周遊状況調査等事業 (606千円)	台湾において日本の観光地をPRするフェイスブックアカウント『日本旅行情報局』を活用し、訪日旅行や本県の認知度等についてのプロトコル調査(ネットリサーチ)を実施した。	観光振興室
富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査)事業 (3,982千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
観光マーケティング戦略委員会運営等事業 (2,960千円)	マーケティングデータに基づき、DMOの取組みや、今後のDMO事業の方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (445千円)	(公社)とやま観光推進機構の会員事業者(観光事業者、交通事業者、宿泊事業者等)、市町村、観光協会等を対象に、インバウンド誘客に関するセミナーを開催した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (4,595千円)	意欲のある市町村と連携し、四季を通じて県内の上質なライフスタイルを体験できる富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを行った。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (12,800千円)	市町村と連携し、更なる誘客強化に向け、これまで企画してきた各観光地・施設等での魅力的な体験プログラムをブラッシュアップし、定番化を目指した。また、近隣県駅での広告や番組制作・放映、首都圏向けのプロモーション等での効果的、効率的な観光PRを実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (14,839千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (4,600千円)	新聞・テレビ・雑誌などの編集者などを招聘し、取材記事の掲載を働きかけることにより本県のパブリシティの強化を図るほか、富山湾鮭10周年記念特別セットに係る原価支援を行った。	観光振興室

## (2) 観光を担う人材育成と地域における活躍促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業(再掲) (17,745千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 43名 (内訳)観光地域づくり入門コース 17名 観光ガイドコース(中級専攻) 3名 観光ガイドコース(上級専攻) 4名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名 観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 8名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 5名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 2組3名	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
おもてなしタクシー ドライバー 養成事業 (1,672千円)	<p>タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」及び「おもてなし優良タクシー事業者」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成研修：令和3年7月30日</li> <li>・表彰：令和3年12月12日</li> </ul> <p>表彰者8人、表彰事業者1社</p> <p>コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年11月16日、26日、12月7日 (参加者38人)</li> </ul>	観光振興室
「観光おもてなし5つ星制度」 普及促進事業 (792千円)	<p>『休んでかれ。』宣言」登録事業者や、おもてなしのステップアップを促進するための「観光おもてなし5つ星制度」を紹介する専用ホームページにより機運醸成を図った。</p>	観光振興室

### (3) 旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (1,608千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数 新作 1,000部(2種類) 増刷 900部(3種類)</li> </ul>	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (2,605千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件</li> <li>・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設8件 改修3件</li> </ul>	観光振興室
ホテル・旅館上 質化等促進事業 (21,083千円)	<p>ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、旅行者の多様なニーズに対応するため、県内宿泊施設の上質化の取組み(客室整備等)を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 4件(3事業者)</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
旅館施設近代化 等促進事業 (512千円)	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対する融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）により、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <p>・融資件数 継続分 1件</p>	観光振興室
クルーズ乗船客 おもてなし向上 事業 (157千円)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業中止	観光振興室
自然公園等整備 事業等 (171,886千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを行った。	自然保護課
生活衛生関係営 業施設における 利用者サービスの 向上に対する 支援 (223千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対し、補助を行った。	生活衛生課
有峰森林文化村 推進費 (49,156千円)	豊かな森林を有する有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、計画的な保守点検の実施等、利用者が安心して施設利用等ができるよう努めた。	森林政策課
県立都市公園の 整備・改修 (878,045千円) (環政:10,001千円)	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを行った。</p> <p>・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森</p>	都市計画課 環境政策課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県立都市公園の 維持管理 (1,037,222千円) (環政:37,919千円)	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立都市公園</li> </ul> <p>県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森</p>	都市計画課 環境政策課

#### (4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社) とやま 観光推進機構運 営費等補助金 (10,828千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。	観光振興室
(公社)日本観光 振興協会負担金 (718千円)	(公社)日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援を行った。	観光振興室
とやま伝統工芸 REAL&EC 展示 販売事業 in China (11,970千円)	本県の伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、北京市において展示会を行い、優れた技術や魅力をPRした。	地域産業支援課

#### (5) 外国人個人旅行者(FIT)受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際観光インター ンシップ促進 事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
訪日旅行商品造 成支援事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
インバウンド対応スキルアップセミナー、専門家個別巡回事業 (3,682千円)	アフターコロナにおける需要回復期を前に、県内事業者を対象にインバウンド対応に関する実務的セミナーの開催や専門家による個別巡回を行った。	観光振興室
富山県外国人旅行者受入環境整備促進事業 (930千円)	多言語でのコミュニケーションや多言語表記、免税手続機器の導入など新たな消費拡大の取組みに対する支援等により、受入環境の整備を図った。	観光振興室
宿泊事業者感染防止対策等支援事業(再掲) (619,180千円)	宿泊事業者が取り組む感染拡大防止策の強化等に要する費用や新たな観光需要に対応するための前向きな投資を支援するとともに、富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合が行う感染防止対策施設の認証を支援した。	観光振興室
外国人旅行者の安全確保に関するガイドライン策定事業(再掲) (4,653千円)	新型コロナ等の感染症や災害等の発生時における外国人旅行者への対応を整備するため、ガイドラインの策定及び県内観光施設や宿泊施設等への周知を図った。	観光振興室
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業(再掲) (2,605千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件</li> <li>・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設8件 改修3件</li> </ul>	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業(再掲) (17,120千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業(再掲) (17,745千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 43名 (内訳)観光地域づくり入門コース 17名  観光ガイドコース(中級専攻) 3名  観光ガイドコース(上級専攻) 4名  観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名  観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 8名  観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 5名  グローバルコース 1名  観光地域づくりマネジメントコース 2組3名</p>	観光振興室
とやま名誉友好大使の委嘱 (117千円)	<p>外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。</p> <p>・新規委嘱数 35人 (全体 1,590人委嘱)</p>	国際課

## 2 広域観光の拠点化

### (1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所 運営事業 (2,200千円)	新幹線駅など県内2か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業 (17,120千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

### (2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観光地アクセス充実事業 (17,714千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部に対し助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件 ツアーバス 10件	観光振興室
とやまロケーションシステム機能充実事業費補助金(再掲) (1,714千円)	「とやまロケーションシステム」の更なる利用促進に向けたシステム機能の強化を支援	総合交通政策室
乗りたくなる公共交通推進事業費補助金 (828千円)	交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み(車両のラッピングなど)を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 7件	総合交通政策室
新幹線アクセス路線バス等運行支援事業 (985千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 2件	総合交通政策室
富山空港利用促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	総合交通政策室



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリアとのアクセス改善事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	総合交通政策室

### (3) 新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (19,200千円)	富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。 ・「お花見フェスタ」「イルミナイト&ハロウィンマーケット」「スイートクリスマス」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光振興室
学習支援船の運航事業 (2,500千円)	富岩運河を活用した学習支援船(富岩水上ライン)の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりを図った。	観光振興室
富岩水上ライン利用促進事業 (5,305千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。 ・リーフレット・ポスター作成 など	観光振興室

### 3 富山らしい魅力創出

#### (1) 「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」観光誘客推進事業 (1,969千円)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「立山黒部」の観光事業の立て直しを図るため、関係事業者とのワークショップを開催した。	観光振興室
黒部ルートを含む旅行商品企画運営事業 (10,000千円)	旅行商品化に向けて旅行商品の企画や販売体制の構築等の業務を実施した。	観光振興室
黒部ルート携帯電話エリア整備事業 (6,693千円)	黒部ルートの携帯電話不感エリア解消に向け、関係者との協議や電源設備の調査を実施した。	デジタル化推進室
黒部ルート等魅力向上検討事業 (621千円)	黒部ルートを含む旅行商品の満足度向上や宇奈月温泉街等の魅力創出等を促進するため、黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議等を開催した。	観光振興室
黒部ルート等インバウンド受入準備事業 (5,300千円)	旅行商品化に向けたインバウンドの受入準備として、現地調査等を実施した。	観光振興室
黒部ルート公募見学会参加者への水の配布 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
廃屋等撤去観光地景観改善支援事業 (18,090千円)	観光地の景観改善を目的として、地域の観光まちづくりの取組みと連携した廃屋等撤去を支援した。	観光振興室
「立山黒部」気象条件等基礎調査事業 (1,738千円)	観光客の安全・安心の確保を目的とした積雪モデル確立のため、積雪期における「雪の大谷」周辺の気象・雪崩等の調査を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」繁忙期3密解消事業 (297千円)	立山駅における繁忙期の3密発生を回避するため、立山駅発室堂行臨時直行バスの運行に係る経費の一部を支援した。	観光振興室
ロープウェイ等整備環境調査事業 (4,815千円)	希少猛禽類の継続的な生息状況を把握するため、モニタリングや県内の生息状況を調査した。	観光振興室
立山・美女平間アクセス施設更新等検討支援事業 (6,106千円)	立山～美女平間の次世代のアクセス手法の整備に向けた検討及び立山ケーブルカーの耐用性調査を支援した。	観光振興室
立山黒部アルペンルート滞在周遊促進等モデル実証事業 (18,451千円)	アフターコロナを見据え、立山黒部アルペンルートでの滞在周遊を促進するため、美女平等における散策コースやアクティビティを組み合わせたモデルコースの実証実験を行い、商品化・実用化に向けた問題点を検証した。	観光振興室
「立山黒部」観光需要回復支援事業(再掲) (72,696千円)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「立山黒部」の観光需要の回復に向け、立山黒部貫光(株)や黒部峡谷鉄道(株)が実施する富山県民・近隣県民対象の割引キャンペーンや観光プロモーション等に対して支援した。	観光振興室
立山黒部アルペンルート緊急運行支援事業 (39,979千円)	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少している立山黒部アルペンルートの運行経費の一部を緊急的に支援した。	観光振興室
立山黒部アルペンルート運行維持支援事業 (500,000千円)	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少している立山黒部アルペンルートの運行維持に係る経費を支援した。	観光振興室
多階層VR技術を活用したアルペンルートプロモーション事業(再掲) (4,999千円)	美女平・弥陀ヶ原への誘客推進のため、VR技術を活用した観光PRイベントを実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (250千円)	立山黒部を広域にPRする協議会への負担金を支出した。	観光振興室
観光地区開発事業費 (1,457千円)	五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1件	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進事業負担金 (157千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・標識や案内看板等の整備 など	観光振興室
世界遺産登録推進事業 (5,983千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	観光振興室
室堂周辺におけるWi-Fi運用事業 (3,609千円)	室堂地区の山小屋等に整備したTOYAMA Free Wi-Fiの運用を行った。	デジタル化推進室、防災・危機管理課
立山博物館管理運営費 (195,703千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展(2回)の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (129,187千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会(17回、253人参加)を実施し、参加者にPRを行った。	砂防課

(2) 「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (200千円)	官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みに対し支援等を行った。 ・令和3年度：1件	観光振興室
新湊マリーナ魅力発信強化事業 (3,555千円)	新湊マリーナへの自家用船舶オーナー誘致を図るため、ジャパンインターナショナルボートショー(横浜市)でのPR活動や、ツアーや県外在住者を対象としたレンタルボートを実施した。	観光振興室
極東杯国際ヨットレース開催支援事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
富山湾岸サイクルツーリズム推進事業 (4,089千円)	サイクリストに優しい宿制度の創設、とやまサイクルナビの保守、サイクリングマップの改訂等を実施した。	観光振興室
サイクリスト受入環境整備事業 (4,214千円)	サイクルふらっと制度の創設、サイクルステーション及びサイクル・カフェのバイクラックのリニューアルを実施した。	観光振興室
サイクリスト向け情報発信強化事業 (6,500千円)	サイクリング専門誌及びWEBサイトへの特集記事掲載、発信力のあるサイクリストによるSNS等での情報発信を実施した。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」ネットワーク活用・発信事業 (147千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」関係者へのメールマガジン配信や、富山県内で富山湾を紹介するパネル展を開催し、富山湾の魅力を発信した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業縮小	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」イスラエル総会派遣事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
サイクルフェスタとやま2021開催事業 (4,598千円)	普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2021」を企画した。 ※開催に向け準備したが、荒天により中止	成長戦略室
ナショナルサイクルルート推進事業 (837千円)	「富山湾岸サイクリングコース」のナショナルサイクルルート指定に向け、サイクリスト受入環境の整備を実施した。 ・サイクルステーションにゲートウェイ機能の整備 ・ウェブサイト「とやまサイクルナビ」の拡充	成長戦略室
ナショナルサイクルルート利用促進事業 (7,863千円)	「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルルートに指定されたことから、県内外へのPRを強化し、利用促進、観光振興に取り組んだ。 ・富山湾岸サイクリングコースのPR映像等の作成 ・「とやまサイクリングマップ」の改訂・増刷 ・富山湾岸サイクリングコースの利用状況調査の実施	成長戦略室
サイクリングコース整備事業 (165,525千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。	道路課
海王丸保存活用事業 (95,942千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、縦帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

### (3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
アフターコロナを見据えた観光地域づくり支援事業(再掲) (25,665千円)	アフターコロナを見据えた新たな旅行商品の開発やデジタル技術の活用、感染防止対策など、観光事業者が行う新たな取組みに対し、支援した。 ・補助件数 31件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (127,750千円)	<p>ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とやまの旬」応援団の募集(7,345名)と活動支援</li> <li>・県産品購入ポイント制度の実施(約3万件の応募)</li> </ul>	農林水産企画課
「とやま食の匠」の認定・普及 (22千円)	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規認定 5個人・団体(計 172個人・団体)</li> <li>・講師派遣 4回 ※新型コロナの影響でイベント減</li> </ul>	農林水産企画課
富山米のブランド力向上 (110,383千円)	<p>県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、「富富富」など富山米のPRとブランド力向上を図った。</p>	農林水産企画課
「富のおもちかえり」販路拡大・ブランド化事業 (1,088千円)	<p>本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販売拡大を目指し、セット販売の実証やPR販売を行った。</p>	農林水産企画課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (21,695千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の陣(富山産業展示館、令和3年10月23日～24日) 県内を中心に約15,000人が来場。</li> <li>・冬の陣(ホテルアクア黒部、令和4年1月22日～2月13日 計23日間) 「越中料理と地酒を楽しむフェア」 ホテルのオリジナル越中料理と富山の地酒を、少人数単位で、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。</li> </ul>	農林水産企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ふるさと認証食品（Eマーク） 制度の普及 (264千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品（Eマーク）」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13商品を新規に認証、令和3年度末215商品</li> </ul>	農林水産企画課
「富山のさかな・水産加工品」 ブランド化推進事業 (20,240千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、三大都市圏等におけるブッフェフェアや国内最大級の水産見本市への出展等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「富山のさかな」販路拡大・PR事業 三大都市圏等で「富山のさかな」ブッフェフェアの開催</li> <li>・シーフードショーへの出展及びPRイベントの開催 首都圏等での国内最大級の水産見本市へ「富山県ブース」を出展</li> <li>・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー</li> <li>・ホームページでの県内料理人・漁師の魅力発信（多言語化対応）等</li> </ul>	水産漁港課
まちの未来創造 モデル事業 (41,217千円)	<p>地域資源を活用した住民主体の地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、まちづくり計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉資源を核とした「ごちやまぜ」による共生と生涯活躍、健康長寿のまちづくり推進事業（射水市）</li> <li>・神秘的資源を魅力に！大岩まちの未来創造事業（上市町）</li> </ul>	ワンチームとやま推進室
「富山県推奨とやまブランド」 推進事業 (8,557千円)	<p>「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1品目2事業者を新たに認定。</li> <li>・認定品を紹介するパンフレットを制作</li> </ul>	広報課



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (2,919千円)	事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。 ・2品目2事業者を新たに選定 ・補助件数 13件	広報課
地域文化力向上・活性化支援事業 (1,903千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 9件	文化振興課
内山邸文化の魅力再生事業 (1,488千円)	平成10年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興課
とやまのお土産新ブランド創出事業 (9,624千円)	北陸新幹線敦賀開業を見据え、越中お土産プロジェクト第3弾として「美・癒し」をテーマとした新ブランド「美のこわけ」の開発・商品化を推進した。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド 観光ビジネス支援事業 (1,844千円)	北陸新幹線の敦賀開業や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の充実に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数3件	地域産業支援課

(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (再掲) (14,839千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室

(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業 (3,059千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(5件)。	観光振興室
教育旅行誘致促進事業 (1,953千円)	首都圏、関西圏、中京圏、山陽圏の旅行会社の教育旅行担当者に対するオンラインでの商談会の実施やプロモーション動画の制作等により、富山県への教育旅行を提案してもらえよう働きかけた。 また、県内事業者や観光担当者に対する誘致検討会の実施により、県内の受入体制の強化に努めた。	観光振興室
アートのまちめぐりパスポート事業 (3,000千円)	富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。	観光振興室
とやま夏期大学の開催 (4,011千円)	富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。 ・開催期間 令和3年11月20日、26日～27日 ・開催地 立山国際ホテル 等	ワンチーム とやま推進室
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	プロスポーツチームの運営会社に取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (87,833千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、関係人口の拡大を図るため、「富山マラソン2021」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2021の開催(9,917名出走)など	スポーツ振興課
サイクルフェスタとやま2021開催事業 (再掲) (4,598千円)	普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2021」を企画した。 ※開催に向け準備したが、荒天により中止	成長戦略室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県自転車活用推進事業費補助金 (799千円)	自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。 補助実績 3件	成長戦略室
富山県美術館管理運営費 (570,051千円)	アートとデザインとつなぐ美術館として、世界的コレクションを新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介する富山県美術館において、常設展や企画展(6回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
水墨美術館管理運営費 (136,719千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展(6回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
高志の国文学館管理運営費 (214,731千円)	富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。 ・企画展(4回) ・ふるさと文学県民講座等の開催(29回)	文化振興課
世界的舞台芸術拠点づくり推進費 (293,577千円)	「舞台芸術特区T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン2021」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興課
イタイイタイ病資料館管理運営費 (48,928千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。 ・語り部講話、特別企画展 ・資料の収集及び保管等	健康対策室
とやま中小企業チャレンジファンド 観光ビジネス支援事業 (再掲) (1,844千円)	北陸新幹線の敦賀開業や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の充実に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数3件	地域産業支援課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま帰農塾推進事業 (4,121千円)	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流・関係人口の拡大、移住の促進、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とやま帰農塾の開講（4市町 全6講座）</li> </ul> <p>※新型コロナ感染症拡大の影響で4塾はオンライン開催</p>	農村振興課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (165,525千円)	<p>「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。</p>	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費 (7,280千円)	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰</li> <li>・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援</li> <li>・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援</li> <li>・富山県眺望景観保全指針の策定 など</li> </ul>	建築住宅課
中央植物園ウェルカム態勢向上事業 (6,015千円)	<p>中国雲南省から導入した植物コレクションや日本有数のサクラコレクションを有する中央植物園において、国内外の団体旅行客等の利用を促進するため、案内板のQRコードによる多言語化を行うとともに、潜在的な魅力の発掘・発信などウェルカム態勢の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板の改修（QRコード付き）</li> <li>・プロカメラマンによる園内撮影 など</li> </ul>	森林政策課
環水公園等賑わい空間創出事業 (再掲) (19,200千円)	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お花見フェスタ」「イルミナイト&amp;ハロウィンマーケット」「スイートクリスマス」などのイベントの実施</li> <li>・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (21,695千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の陣(富山産業展示館、令和3年10月23日～24日) 県内を中心に約15,000人が来場。</li> <li>・冬の陣(ホテルアクア黒部、令和4年1月22日～2月13日 計23日間) 「越中料理と地酒を楽しむフェア」 ホテルのオリジナル越中料理と富山の地酒を、少人数単位で、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。</li> </ul>	農林水産企画課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業(再掲) (20,240千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、三大都市圏等におけるブッフエフェアや国内最大級の水産見本市への出展等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「富山のさかな」販路拡大・PR事業 三大都市圏等で「富山のさかな」ブッフエフェアの開催</li> <li>・シーフードショーへの出展及びPRイベントの開催 首都圏等での国内最大級の水産見本市へ「富山県ブース」を出展</li> <li>・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー</li> <li>・ホームページでの県内料理人・漁師の魅力発信(多言語化対応)等</li> </ul>	水産漁港課

#### (6) インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
外国人向け AIチャットボット導入事業(再掲) (27,838千円)	<p>県内周遊の促進や、行動データの収集・分析を通じた誘客・消費の促進のため、AIチャットボットを県下全域で導入した。</p>	観光振興室
欧米豪バックカントリースキー調査・検討事業 (900千円)	<p>欧米豪のスキーマーをターゲットとしたインバウンド誘客の促進を図るため、立山のバックカントリースキーの魅力や課題等の調査・検討を行った。</p>	観光振興室

### Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

#### 1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

##### (1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
J Rタイアップ 富山旅行定着促進事業 (9,699千円)	J R各社とのタイアップによる広告宣伝等を展開し、北陸新幹線の開業効果の持続並びに誘客促進を図った。 【首都圏・新幹線沿線地域でのタイアップ】 ・びゅう旅行商品「富山とりっぷ」の造成 【関西圏・中京圏でのタイアップ】 ・大手旅行会社における旅行商品の造成促進 ・会員誌への広告出稿	観光振興室
北陸三県通年誘客キャンペーン事業 (10,000千円)	北陸三県や北陸経済連合会、J R西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るため、北陸三県及びJ Rとの連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・観光素材記者体験会 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
富山県・岐阜県連携観光誘客事業 (2,832千円)	富山県・飛騨地域の広域観光周遊ルートを確立するため、岐阜県と連携し、高速道路定額乗り放題企画を実施した。	観光振興室
飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・インバウンド向け観光ポータルサイトの構築 ・SNS 広告配信 など	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山・長野新旅行商品造成促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
(公社)日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200千円)	(公社)日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光振興室
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地を結ぶ国道41号沿線地域(ノーベル街道)の魅力を体感してもらうスタンプラリー(富山市岩瀬地区、富山市南地区、飛騨市古川町)を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光の振興を図った。	観光振興室
団体観光送客強化促進事業 (10,575千円)	富山-羽田便を利用する羽田発の団体旅行商品に対して、助成を実施した。	総合交通政策室
ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850千円)	北陸三県の行政機関と新聞社が連携し、「北陸新幹線敦賀延伸」をキーワードに、北陸の魅力を首都圏で発信するとともに、地元読者にも周知するなど、北陸エリアの地域力向上のための事業を実施した。	ワンチームとやま推進室
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 ・北陸3県の観光ホームページ「北陸物語」の更新 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	広報課
飛越地域等との交流推進事業 (536千円)	飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地方創生を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、当該地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、古くから伝わる祭りや匠の技、味等のPR活動を全国に向け展開した。 (協議会の主な事業) ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域への誘客の促進	総務課

(2) 「富山ファン」に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (250千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
「旬のとやま旅」 情報発信事業 (再掲) (19,998千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や住環境、食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光情報をデジタルや紙媒体を有効活用しながら発信した。	観光振興室
「いきいき富山館」管理運営事業 (22,776千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (再掲) (6,813千円)	本県への誘客を図るため、JR仙台駅構内において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ・仙台(令和3年11月12日～11月14) JR仙台駅	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	本県への誘客や特産品販売の拡大を図るため、北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施した。	観光振興室
観光パンフレット等作成 (4,108千円)	本県への誘客を図るため、県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」を作成・配布した。	観光振興室



事業名 (事業費)	実施状況	担当課
令和3年度富山県観光ホームページ制作及び運用保守業務 (再掲) (29,831千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」のデザイン・内容・システム等を見直してリニューアルすることにより、魅力的かつ戦略的な情報発信を行い、観光客の誘致増大や周遊促進、消費額の増を図った。 ・観光ホームページのリニューアル ・サーバーの運営管理 ・コンテンツの充実 ・セキュリティ対策 など	観光振興室
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (35,319千円)	(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光振興室
冬季誘客促進事業 (460千円)	冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、団体ツアーや旅行商品造成に対して助成を行った。	観光振興室
夏期首都圏誘客キャンペーン事業 (6,735千円)	本県への誘客促進を図るため、夏期期間に、有給休暇取得及びテレワーク等を促進する首都圏企業で働く現役世代に対して、企業の福利厚生事業を活用してキャンペーンを行った。	観光振興室
地元で遊ぼう。とやま旅促進事業 (25,608千円)	県内着地型旅行商品を割引価格で販売することと併せて、利用者に対し、アンケートを行い、商品のさらなるブラッシュアップを図った。	観光振興室
「地元で泊まろう！県民割引キャンペーン」事業 (再掲) (72,470千円)	県民を対象にした宿泊割引キャンペーンを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む観光需要の回復を図った。 ・令和3年4月3日～4月27日	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地域観光促進事業(再掲) (2,975,012千円)	<p>県民等を対象にした宿泊・日帰り旅行割引キャンペーンや県内の学校が県内を行先として実施する教育旅行費用を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む観光需要の回復を図った。</p> <p>・令和3年5月1日～令和4年3月31日</p>	観光振興室
ウェルカム富山県キャンペーン事業(再掲) (491,815千円)	<p>県内宿泊施設に宿泊された方を対象に富山県ならではの特産品等を漏れなくプレゼントするキャンペーンを実施することにより、コロナ禍で厳しい状況が続く宿泊事業者・物産事業者を支援するとともに、コロナ感染拡大により落ち込んだ観光需要の回復を図った。</p> <p>・ウェルカム富山県キャンペーン(延長) (令和3年4月1日～4月27日)</p> <p>・地元でもらおう!リピート応援特産品プレゼントキャンペーン(令和3年7月1日～10月31日)</p> <p>・富山の新酒と冬の特産品キャンペーン (令和3年11月1日～令和4年2月28日)</p>	観光振興室
県産品販売強化支援事業(再掲) (17,000千円)	<p>大手通販サイトと連携し、県産品のEC販売プラットフォームを確立し、WEB物産展の開催等を通じて県産品の販売強化を図った。</p>	観光振興室
広域連携による観光PR事業 (2,250千円)	<p>百貨店やショッピングモールが主催する北陸三県等との合同物産展等において、北陸ほか近隣各県との連携を図り、エリア一体的な観光PRを実施した。</p>	観光振興室
首都圏情報発信拠点運営事業費 (151,323千円)	<p>首都圏において本県の魅力をPRするため、物販、飲食、観光・定住・UIJターンに係る情報提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。</p> <p>・令和3年度来館者数：約18万9千人</p> <p>・「」売上げ：約2億1300万円</p>	成長戦略室
首都圏とやまの魅力発信事業(再掲) (22,588千円)	<p>首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。</p>	成長戦略室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏観光・定住 促進事業 (11,207千円)	<p>本県への観光・定住を促進するため、日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度相談対応：延べ約1万4千人</li> </ul>	成長戦略室
首都圏魅力発信 イメージアップ 事業(再掲) (5,879千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、マスコミ各社とのリレーション構築、イベント出展、首都圏独立放送局3局での番組放映、本県の食や観光を体験できるオンライン交流会の実施等により、富山の魅力発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リリース配信 10回</li> <li>・イベント開催・出展 2回</li> <li>・テレビ番組放映 1回</li> <li>・オンライン交流会開催 1回</li> <li>・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布</li> </ul>	成長戦略室
トヤマ・ジャスト・ナウ (1,694千円)	<p>県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日に1つの記事をホームページで配信</li> </ul>	広報課
ワクワクとやま 応援寄附金 (32,606千円)	<p>一定額以上のふるさと納税(寄附)者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットの作成、配布</li> <li>・HPでのPR</li> <li>・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈</li> </ul> <p>【令和3年度：寄附件数 3,763件、寄附金額 118,780千円(新型コロナウイルス対策応援基金分等を除く)】</p>	税務課
富山くすりフェア 開催事業 (2,000千円)	<p>(一社)富山県薬業連合会が開催した「富山くすりフェア」を支援し、富山のくすりのイメージアップと販路拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内くすり関連施設をめぐる謎解きイベントの開催 令和3年7月25日～令和4年3月31日</li> <li>・「くすり×科学×食」をテーマにしたワークショップの実施 令和3年7月25日、8月1日</li> </ul>	くすり政策課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山のくすり」 販路拡大推進事業 (638千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館(東京都)において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置薬、富山のくすり関連雑貨の販売</li> <li>・富山県の医薬品産業PR動画の放映</li> </ul> 令和4年2月18日～20日	くすり政策課

### (3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光PR事業 (2,000千円)	本県が舞台となった映画の公開にあわせて、ロケ地富山の魅力や観光情報を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画「鳩の撃退法」のロケ地マップの作成・配布、シーンパネルの作成展示等</li> </ul>	観光振興室
ロケツーリズム推進事業 (2,050千円)	本県出身タカハタ秀太監督の映画「鳩の撃退法」を活用し、首都圏や関西圏からの誘客の促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏及び関西圏の主要JR駅にて「鳩の撃退法」を活用したロケ地PR広告の実施等</li> </ul>	観光振興室
木曾義仲・巴御前魅力発信事業 (712千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発信などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「義仲・巴」の魅力を積極的にPRするため、オンライン講演会を実施</li> </ul>	総務課

## 2 海外誘客の推進

### (1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
外国人向け AI チャットボット 導入事業(再掲) (27,838 千円)	県内周遊の促進や、行動データの収集・分析を通じた誘客・消費の促進のため、AI チャットボットを県下全域で導入した。	観光振興室
東京オリンピック・パラリンピックを契機とした情報発信事業 (3,600 千円)	東京オリンピック・パラリンピックを目的とした訪日外国人の誘客を促進するため、CM 放映による観光プロモーションを行った。	観光振興室
訪日観光客向け 観光情報発信・ 取得利便性向上 事業 (3,123 千円)	海外に富山県の観光資源等を PR するため、外国語パンフレット等を制作した。	観光振興室

### (2) 近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ビジット・トヤマ 広域連携強化 事業 (14,957 千円)	北陸新幹線沿線地域や国の訪日プロモーション地方連携事業等と連携し、SNS を活用した記事型広告やオンライン商談会の実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社) 中央日本 総合観光機構 負担金 (3,000 千円)	中部 9 県 3 市の観光事業に関する中枢機関である(一社) 中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源の PR 等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室
北陸国際観光テ ーマ地区推進富 山協議会負担金 (2,800 千円)	北陸 3 県及び管内自治体等と組織している「北陸国際観光テーマ地区推進協議会」において、現地旅行会社向けオンラインセミナーの開催や海外有力メディアを活用した記事広告を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(独) 国際観光振興機構負担金 (700 千円)	(独) 国際観光振興機構 (J N T O) の賛助団体に加入し、J N T O の海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外への P R により、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室
北陸インバウンド誘客キャンペーン事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室

### (3) 東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾観光案内サポーター設置事業 (101 千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光振興室
台湾観光交流促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
富山ー羽田便活用東南アジア誘客促進事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
観光客誘致広告支援事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
中国 F I T 誘客促進 P R 事業 (1,200 千円)	富山県公式中国版 S N S を活用し、富山県の観光地やイベント等を発信することにより、中国における認知度の向上及び誘客の促進を図った。	観光振興室
A N A 連携東南アジア F I T 誘客事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光客誘致コンサルティング事業 (4,200千円)	台湾、香港、タイからの誘客促進のため、本県観光情報の継続的な発信、現地旅行事業者等との関係構築、現地ニーズに即した旅行商品造成の働きかけ等を実施した。	観光振興室
大連事務所運営費 (21,167千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「天皇誕生日祝賀レセプション」、事業者による特産品のオンライン紹介販売等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (11,700千円)	県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。 ・香港、台湾、シンガポールの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・シンガポール「Food Japan」へのオンライン出展 ・香港「フード・エキスポ」は、参加に向けて準備したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催自体が中止	農林水産企画課

#### (4) 欧米豪の富裕層など新規市場の開拓

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ミシュランガイド活用欧米観光客誘致促進事業 (再掲) (8,899千円)	ミシュランガイド英語版ウェブサイトを活用し、欧米からの誘客促進を図った。	観光振興室
欧米豪バックカントリースキー調査・検討事業 (再掲) (900千円)	欧米豪のスキーヤーをターゲットとしたインバウンド誘客の促進を図るため、立山のバックカントリースキーの魅力や課題等の調査・検討を行った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
クルーズ客船の 安全・安心な受 入体制確保事業 (886 千円)	受入体制の構築に向けた専門家との連携、クルーズセミナーの開催等を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
クルーズプロモ ーション強化事 業 (10,282 千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化、クルーズ客船誘致に係るコーディネーターやセールス専門員の配置等を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
環日本海クルー ズ推進連携事業 (200 千円)	小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港で構成する「環日本海クルーズ推進協議会」の運営や、全国クルーズ活性化会議への参加により、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室



### 3 ビジネス観光誘客の推進

#### (1) ビジネス客向けの旅行商品の造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催補助金 (1,700千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 3件	観光振興室

#### (2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業(再掲) (3,059千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(5件)。	観光振興室

#### (3) ワーカーション・ブレジャー等ビジネス観光の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまでテレワーク移住促進事業(再掲) (7,556千円)	①富山ならではの地域の特性や魅力を活かしたワーカーション体験ツアーの実施やワーカーションに関心のある首都圏等の企業・個人を対象としたセミナーを開催した。 ②関係人口の創出や、二地域居住、さらには将来的な移住促につなげるため、テレワーカーのお試し移住に関わる経費を支援した。 ・補助件数 18件	ワンチームとやま推進室
立山山麓ワーカーション環境整備事業(再掲) (3,787千円)	立山山麓家族旅行村にフリーWi-Fiを整備	自然保護課

(4) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,252千円)	I C C A (国際会議協会)のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。	観光振興室
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,798千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室
コンベンション誘致促進事業 (2,676千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光振興室
コンベンション誘致宣伝事業 (198千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカージョンのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。 ・国際 MICE エキスポ・オンライン 令和4年2月16～17日	観光振興室
誘致訪問活動 (370千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光振興室
富山国際会議場運営費補助金 (69,290千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
学会等開催補助金(再掲) (1,700千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 3件	観光振興室
富山型 MICE 連携推進事業 (128千円)	富山県 MICE 推進協議会を開催し、戦略的な MICE 誘致の推進や受入環境の整備について議論を深めた。 ・令和4年2月21日	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハイブリッド MICE 受入体制 PR 事業 (2,000 千円)	ハイブリッド型のセミナーを開催し、本県におけるハイブリッド型学会等の受入体制を全国のコンベンション関係者に対して発信した。 ・令和4年1月19日	観光振興室

(5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事 業 (12 千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 10 件	観光振興室
おもてなしタク シードライバー 養成事業(再掲) (1,672 千円)	タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」及び「おもてなし優良タクシー事業者」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。 ・養成研修：令和3年7月30日 ・表彰：令和3年12月12日 表彰者8人、表彰事業者1社 コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。 ・令和3年11月16日、26日、12月7日 (参加者38人)	観光振興室